



第671回抄録委員会（2月15日）

本誌5月号に掲載する海外文献の抄録内容および海外文献目録の和文題名について審議した。

第33回府県営水道連絡協議会（2月18日）

本協議会のメンバー府県から提案された情報交換事項①「用水供給事業と水道事業の連携の取組」、②「地域連携事業と財源確保」、③「水道料金の算定」、④「国管理ダム負担金の適切な受益者負担」、⑤「平成26年度予定の会計基準の見直しへの対応（修繕引当金）」、⑥「建設仮勘定の現状及び制度見直しに絡む整理等」、⑦「災害時における応急復旧要員の確保」、⑧「再生可能エネルギー発電設備の導入」について、それぞれ情報・意見交換を行った。



また、事務局より「平成25年度全国会議（水道研究発表会）における東日本大震災に関連した研究発表論文の募集」について報告を行った。

水道技術者専門別研修会（浄水処理部門（高度浄水処理を含む））（2月18日～22日）

66名の参加を得て「浄水処理プロセス」「活性炭・オゾン・紫外線処理」「浄水場見学（東京都水道局朝霞浄水場）」「東京都の高度浄水処理」「膜処理」「生物処理（緩速戸過を含む）」「水道水の消毒（代替塩素剤を含む）」について研修を実施した。

第915回会誌編集委員会（2月19日）

本誌7月号編集方針、投稿原稿の審査並びに水道協会雑誌の編集企画について審議した。

水道 GLP 認定証授与式

水道 GLP 認定委員会で認定及び認定の更新が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会専務理事室において行った。



2月19日

横浜市水道局

(認定番号：JWWA-GLP093)



2月25日

旭川市水道局

(認定番号：JWWA-GLP042)

第154回水道技術管理者協議会（2月21日）

設定議題①震災等非常時における給水確保のための施設整備状況および応急給水用資機材の備蓄状況、②専用水道等からの応急給水要請への対応、③自家用発電設備の燃料備蓄容量の考え方および劣化対策、④腐食性の高い土壌に埋設されている管路等の防食対策、⑤次亜塩素酸ナトリウムについて意見交換を行った。



また、JWWA 規格の改正、配水管講習会に関わる運営委員会、水道耐震化推進プロジェクト、平成25年度配水管工技能講習会の実施予定、最新の水質情報などについて報告を行った。

第75回水道 GLP 認定委員会（2月26日）

水道 GLP 認定について、(公社)鹿児島県薬剤師会（申請番号：JWWA-GLP 094）が新規に審議され決定された。また、認定更新検査機関として高松市上下水道局（認定番号：JWWA-GLP044、2月24日付）、茨城県企業局（認定番号：JWWA-GLP045、2月24日付）、(社)山梨県食品衛生協会（認定番号：JWWA-GLP046、2月24日付）が、更新後の認定維持検査機関として福岡地区水道企業団（認定番号：JWWA-GLP20）、久留米市企業局（認定番号：JWWA-GLP21）が、それぞれ審議され決定された。

第159回水道統計編纂専門委員会（3月8日）

議題①平成23年度水道統計について、平成23年度における水道の普及状況、並びに水道統計冊子へ記載する被災地対応の凡例について、それぞれ厚生労働省健康局水道課水道計画指導室 渡邊室長補佐より説明があり、承認された。また、議題②平成24年度水道統計調査の見直しについて、事務局より説明があり、原案に修正を加えたうえで了承された。



次に、議題③経年分析における排水処理施設の掲載方法について、事務局より説明の後、掲載方法の変更が了承された。

第672回抄録委員会（3月8日）

本誌6、7月号に掲載する海外文献の抄録内容および海外文献目録の和文題名について、審議した。